

平成22年度 やまぐち自然共生ネットワーク通常総会の概要

平成22年5月30日(日)コアプラザかの(周南市鹿野上)において、平成22年度の通常総会と交流行事を開催しました。

当日の様子を主に写真で紹介します



1 開会あいさつ・来賓あいさつ

庫本(くらもと)会長のあいさつの後、門田(かどた)山口県環境生活部次長からあいさつをいただきました。



2 表彰式

岩国市天尾(てんのお)で平成3年から今日までの19年間にわたって、錦川の清掃や地域交流、二輪草の保全活動などに取り組まれている塚本司郎(つかもとしろう)様に表彰状を贈呈し、その功績を讃えました。



塚本様には、後日、記念樹とプレート贈呈する予定です。(功績については別紙参照)

3 議事

議長に選出された、周南地域の山本理事の進行のもと、議案が審議され、提案された6議案はすべて承認されました。

また、新会長の開村(かいむら)会長(山口ささゆり会会長)からあいさつがありました。

今年度のリレーミーティングについて、萩地域の小茅理事から説明がありました。(概要はニュース 10 参照)



開催日: 10月23日~24日(1泊2日) 日帰り可
宿泊場所: 萩コースホテル(萩市堀内109-2)
たくさんの方の参加をお待ちしています。



4 活動報告、意見交換会

活動報告として、田中事務局長から、身近な場所を継続的に注意深く観察していると、様々なことがわかってくるし、すごい発見をすることがあるという話がありました。

例示として、クモを長年研究している宇部美祢地域の増原理事が西中国山地でオフクホラヒメグモ（準絶滅危惧）を発見したこと、県庁周辺（比較的町中）でも多様な動物を確認することが出来ることの説明があり、博物館の企画展で「やまぐち動物大百科」を開催するのでぜひ見て欲しいとのことでした。



意見交換会は、東部、中部、西部の3ブロックに分かれ、自己紹介のあと、活発な意見交換が行われました。



5 交流行事

参加者全員がコアプラザかのかから、潮音洞を作った岩崎惣左衛門の銅像を見た後、境内に巨木が多く残されており、全国の神社のおみくじの製造で圧倒的シェアを誇る二所山田神社まで行った後、「山野草コース」と「清流通り散策コース」の2コースに分かれて、交流を深めました。

(1) 山野草コース

昨年度、ネットワークで表彰した伊藤芳孝さんが、個人の山に350種類の山野草を植えて一般の人に無料で開放している「山野草のえき」には、季節の花が咲き、当日は、伊藤さんと日頃から「山野草のえき」を観察している周南市の今井さんの解説でゆっくり鑑賞しました。



(2) 清流通り散策コース

二所山田神社宮本公胤宮司の解説により、二所山田神社に残る巨木や草花などを観察した後、おみくじを作っている女子道社を見学し、日本で最も古いおみくじの自動販売機を見せていただきました。その後、清流通りにある水車、漢陽寺にある潮音洞などを見学しました。



今回の交流行事で周南市鹿野の歴史や自然を少し知ることができました。